

ヤマザクラ通信

vol.11

ヤマザクラ課（ヤマザクラグループ）

（☎58-5111・75-3111 内線1321）

桜川市のヤマザクラの保全

花見の文化

桜川はユーラシア大陸の温帯域を中心に広く分布しており、およそ100種類が報告されています。

ただし、西洋ではさくらんぼのような食用の桜川がほとんどで、鑑賞用の桜川はアジアに集中し、その中心は日本となっています。

万葉の時代から続く日本独自の花見の文化は、美しい桜川が自生していたからこそ生まれたと考えられています。日本では10種類の野生の桜川が確認されていますが、このうちお花見の対象とされるのは、ヤマザクラ、オオヤマザクラ、カスミザクラ、オオシマザクラ、エドヒガン、マメザクラなどです。

市内の桜川

国の名勝や天然記念物に指定される桜川の桜川は、ヤマザクラとカスミザクラで、市内の里山に自生しているのもこの2種類です。

磯部桜川公園は、こうした野生の桜川が見られる珍しい公園で、野生種ならではの個性豊かで多様な桜川の魅力に触れることができます。しかし、最近の調査の結果、園内の純粋なヤマザクラやカスミザクラに混じって、栽培品種や他地域の桜川との交雑種が多数確認されました。

ヤマザクラの保全

野生生物の絶滅などについては社会的に関心が高まっています。桜川は絶滅の心配こそないものの、全国に広がる大規模な植栽による遺伝

子汚染が問題となつています。

特にオオシマザクラや染井吉野との交雑が各地で問題となつており、磯部桜川公園内でもそれが起きていました。

地域の文化的な財産として考えれば、桜川で育った桜川は、よそで栽培されたものより貴重であり、本来のあるべき姿で次世代に残していく必要があります。

史跡名勝天然記念物調査委員で、桜博士と言われた三好学博士も自著『桜』の中で、桜川の桜川の保存について「同所在来の山桜の天然品種を植え継いで行かねばならぬ」と書いています。

歴史ある桜川の名所である桜川では、細部にまで気を遣いながら保全に取り組み「日本一のヤマザクラの里」づくりを行っています。



個性豊かな野生の桜川

桜川市地域おこし協力隊のNew Face をご紹介！



みなさまはじめまして！
桜川市地域おこし協力隊の
萩原陸です！！

今年の3月に美術大学を卒業し、4月から地域おこし協力隊として東京都国分寺市から桜川市に移住してきました。

現在は真壁の旧高久家住宅で月に2回、野菜やパンなどを販売する「高久家マルシェ」を開催しています。

また、桜川市を「知る」ことを軸に活動していますので、地元の方しか知らないお店や、珍しい作物を育てている農家さん、創作活動に取り組んでいる方などを紹介していただけると思います。

地域住民の方々と手を取り合いながら地域おこしに取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いたします。

デイサービスセンター 上の原

令和元年8月1日オープン

特別養護老人ホーム 上の原 TEL 0296-71-6888 桜川市上野原地新田154番地4 HP <http://www.u-gaku.or.jp/>